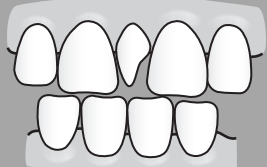


過剰歯と先天性歯牙欠如

私たち人間の歯の数は、親知らずを除けば、永久歯は上下左右合わせて28本、乳歯は20本です。ときどきこの歯の数が多かったり、少なかったりすることがあります。本来生えるべき場所でないところに余分な歯が生えてきたものが「過剰歯」、生えるべき歯がもととない状態を「先天性歯牙欠如」といいます。

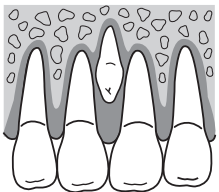


外に出ている過剰歯

●過剰歯は要観察 抜歯することも

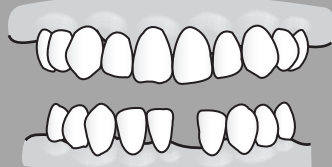
過剰歯は乳歯にも永久歯にもあります。小さくいびつな形をしていることが多く、中には顎の骨に埋まったまま出てこないもの（埋伏歯）も

あります。多くが乳歯から永久歯に生えかわるときに出てきます。また、治療のために撮ったレントゲン写真



埋伏過剰歯

で偶然発見されることもあります。様々な場所に生えてきますが、一番目にするのが上の前歯の間、上の奥歯のさらに奥、そして下の小白歯のあたりです。他の歯の成長に悪い影響がなければそのままにしておいて大丈夫です。しかし、隣の歯の根を溶かす、歯並びを悪くするなど、困った症状のあるときは時期をみて抜歯します。過剰歯がある方は、定期チェック時にも様子を調べます。



先天性歯牙欠如

●先天性歯牙欠如

生えるべき歯が生えてこないと心配して受診したところ、歯になるもとが欠けていることがあります。1~2本不足している場合から部分的にない場合までいろいろです。食生活の変化による退化現象と考えられますが、中には妊娠初期にかかった病気や遺伝ということもあります。たいへんめずらしいのですが、最近の子どもにこの先天性歯牙欠如が多く見られるようになり問題になっています。乳歯の欠如はあまり問題になりませんが、永久歯が多数欠如していると、歯並びやかみ合わせ、お口の機能の発達にトラブルを抱えることになります。心身の健やかな成長のためにも、そういうケースでは早めの対応が必要になります。お口の健康管理を任せるホームドクターを持ち、定期的を受診していれば早期に発見できるのでご安心ください。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

2007年
月号



秋の深まりを感じると、もう今年も余すところ2ヶ月。いろいろな意味で焦ってしまうのは私だけでしょうか。

でも、一年を区切ったのは、人間の勝手。宇宙も自然界も「そんな事、関係ない」と回り続けています。

気持ちの切り替えで「今年出来なかった事は、来年にまわそう。」というくらいの『鈍感力』も必要なのかもしれません。しかし、仕事となると...

年末年始にかけて忙しくなる方は、その旨をなんなりとお伝え下さい。仮歯を入れたり、今すぐ手をつける必要がない歯の処置は後回しにするなど、治療計画を立てさせていただきます。

歯科治療での一番よくない事は、遠慮、中断、放置です。もちろん患者さん側の病状についての勝手な思い込み、こちらの話を聞かない一方的な要求も困ります。気になることや、不安なことがありましたら、ドクターやスタッフにご相談下さい。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日
変更の
お知らせ

●12月29日(土)~1月6日(日) 年末年始のお休みの予定です。
●諸事情により、年内の土曜日の午後の診療は休診いたします。

乙みや歯科

03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>
ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp